

【「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う」ために、展開後段で、どのようなことを学ばなければならないのでしょうか】

「よりよく生きる」とは、どういうことでしょうか。

私たちは、誰もが道徳的によい生き方をしたいと思っています。それは、季節の移ろいや自然の豊かさを感じたり、自分のよさや周りの人たちの温かさに心を動かされたりしながら、日々、幸せに生きることです。また、日常、道徳上の問題場面に遭遇したとしても、その場だけの感情や身勝手な理由だけを考えて判断して行動せず、道徳的価値の理解を基にした考えで判断し、適切な行動を取ることができることです。

では、「よりよく生きる」とは、どういうことでしょうか。

ここで、文字通り、「〇〇より、よく生きる」と考えると、「〇〇」には何が入るのでしょうか。

一つは、「悪い」または「悪」です。「悪いより、よく生きる」、それは、「善い」ことをして生きる、または、「善」を志向して生きるということです。では、「悪」への道を歩まないためには、どのようなことが必要でしょうか。

それには、まず、「善」にはどういう意味があるのか、「悪」はどうかを理解する必要があります（理解しようとする意志が必要です）。例えば、誠実とは、どういう意味があるのか。それは、自分にも他者にも純粋に大事に思うことであり、不誠実や嘘は、自分勝手や自己保身の表われであることを理解することです。そうすると、誠実は善であり、不誠実や嘘は悪であることが分かっていきます。

そして、「〇〇」に入るもう一つは、「よい」です。つまり、「よいより、よく生きる」です。「『よい』よりよく生きる『よい』」とは、どういうことでしょうか。一つは、「見せかけの『よい』よりよく生きる」ということです。「見せかけの『よい』」、つまりは偽善です。例えば、相手を助けてあげようと誠実そうに見えて、実は、みんなから褒められたいという気持ちをもっているというようなことです。もう一つは、心から誠実に「よい」と思って助けてあげたことでも、視点を変えて考えてみると、さらに「よりよい」ものがあるということです。

この「よりよい」ことを考えるためには、その道徳的価値には、どのような「よさ」があるのか、その「よさ」が、もう一方の「よさ」よりも、なぜ、よいのか、どういう点でよいのかを考える必要があります。この、そもそもの「よさ」や、もう一つを上回る「よさ」に気づくことで「よりよく生きる」につながります。

「よりよく生きるための道徳性を養う」ために、展開後段で、どのようなことを学ばなければならないのでしょうか

このことについて、学習指導要領解説「特別の教科 道徳」では、「児童（生徒）が今後、様々な問題場面に出会った際に、その状況に応じて自己の生き方を考え、主体的に判断に基づいて道徳的実践を行うためには、道徳的価値の意義及び大切さの理解が必要となる。道徳的価値について理解するとは、発達の段階に応じて多様に考えられるが、一般的には、道徳的価値の意味を捉えること、またその意味を明確にしていくことである」とされています。

この「道徳的価値の意義及び大切さの理解」を分けると、一つは道徳的価値の意味の理解、もう一つは道徳的価値の大切さの理解になります。

展開後段は、この価値理解が中心となる学びの時間です。この時間で、児童生徒が、これまでの道徳的価値への考え方を深めることができるように問いを立てなければなりません。そこで、上記のことを踏まえて、次の四つの視点で問いを立てます。一つは、道徳的価値の意味について考えを深めます。二つ目は、道徳的価値のよさや大切さについての考えを深めます。三つ目は、道徳的態度についての考え方です。そして、四つ目が、道徳的実践への意欲についての考え方です。この観点の問いは、主題に直結していますので主題発問と名付けていて、この1時間の中心となります。そのため、展開前段の問いやつなぎ発問は、この主題発問への流れとなっていることがとても重要になります。この意味で、展開前段やつなぎ発問の問いは、主題発問にとって必要かどうかによって精査して関連性と一貫性が伴ったものにします。

(道徳的価値への考えを深める4視点)

- ・道徳的価値の意味を考えさせる
- ・道徳的価値のよさや大切さを考えさせる
- ・道徳的態度（身構え・心構え）を考えさせる
- ・道徳的実践への意欲を高める

この視点の中から1時間1主題として決定します。

(了解点)

従来、この主題発問についての学びは、子どもの多様な、多角的な考えが交流できればよいとされてきました。もちろん、そういう授業も大切です。しかし、子どもが話し合いの中で、お互いの考え方に同感したり感動したりして、みんなが了解できる価値観が見つければ、それは、グループや学級全体の価値観としてあってもよいのではないのでしょうか。それは、一致点や合意点などといった厳しいものではなく、「そうだね。」「いいね。」と言い合えるものでよいと思います。1年間、共に学校生活を送る仲間として、ある道徳の時間でみんなが了解した価値観があり、それをもとに道徳上の問題を感知し、それをもとに考え、判断し、態度を決め、行動していく、そして、何かの折には、そこに戻って、自分やみんなを見つめ直し、当然、強制力はありませんので、また話し合っ、途中でそれらを変更もしてよりよいものにしていく。

了解点までもっていくには、4つの観点のうち、「道徳的価値の意義や意味」「道徳的価値の大切さ」の問いがよいです。これらの問いは、道徳的価値のそもその見方や考え方を考えさせるものですので、了解しやすく、そこから考え方を広げていくのは個人に委ねられていく自由度があります。「道徳的態度を考えさせる」と「道徳的実践への意欲を高める」は、具体的な道徳的行為へつながりやすく、強制力を感じさせることが懸念されます。

授業では、展開後段の問いについて個人で考えさせて、ワークシートに書かせ、グループで画用紙に貼らせます。そして、一人ひとりのワークシートの周りに、「同じ」「分かる」「なるほど」「すごい」の言葉と共に感想を書き合います。この4つの言葉は、相手の考えに対する肯定的な評価であるというねらいがあり、それを重ねていくことで了解点を見つけやすくなります。そして、書き込んだ言葉を手がかりにして、グループとしての了解点をまとめます。その

了解点を発表し、今度は、学級全体で「同じ」「分かる」点などを話し合っ、学級としての了解点を見つけます。グループの了解点と学級の了解点は、まとめて掲示しておく、いつでも目に触れることができます。

1年を通して、自分の中に自分が学習して学び取った「よい心」が蓄積し、道徳上の問題を察知する感度が上がり、自らの「善」がよりよく更新され、その指令に喜んで従って、適切な態度を選択し、当たり前のように行動する……。この一連の過程が、直観的に行うことができるだけでなく、葛藤やジレンマの場面でもしっかりと行動できる……。たとえ、厳しい状況や事情によって、よりよい行為ができないときであっても、それをしっかりと省察し、次の問題場面では道徳的行為ができる……。道徳授業のその先に、そのような生き方を送ってくれるよう願っています。

展開後段の発問例

この発問例は、主題に関連して、そのまま問いとして活用できる場合もありますが、学年や教材によっては、文言を変えて示してあげる方がよい場合もあります。

A主として自分自身に関すること

善悪の判断、自律、自由と責任

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・よいこととは、どういうことか。 ・よいことと悪いことを区切る考えは何か。 ・みんなが考えているよいこととは、どういうことか。 ・みんなが正しいと判断した理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことをもとにして、正しいと判断するのか。 ・自由とわがままの境目は何か。 ・人が求めている自由とは、どういうものか。 ・自由は、どこまで認められているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由をどのように考えるとよいか。 ・責任を果たすとは、どういうことか。 ・誰もが、自由をどのように考えなければならないか。 ・最高の自由とは、どういうことか。 ・最低限必要な自由とは何か。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことがよいことなのか。 ・よいことをすると、どんな気持ちになるか。 ・よいことをしている人を見て、みんなが真似をするのはどうしてか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなときに、自由がよいと感じるか。 ・なぜ、正しいことを言わなければならないか。 ・みんなは、どうしてよいことをするのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由は、どうして大切なのか。 ・自由は、何のためにあるのか。 ・責任を果たした人は、どんなことをしたのか。 ・人は、何のために責任を果たさなければならないか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・よいことをするには、どのような思いをもっておくことが大事か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいことをするための強い思いとは、どのような思いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に行動するときには、どのような考えをもっておかなければならないか。

		<ul style="list-style-type: none"> • きっぱりと断るには、どんな考え方が大事か。 	<ul style="list-style-type: none"> • 責任を果たすためには、どのような思いが大切か。
<p>道徳的実践への意欲を高めさせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • どんな思いが大きくなると、よいことができるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 正しいことをするための心の力は、どんなものか。 • どんな思いが沸き起こってくると、よいことができるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 最後まで責任を果たすには、どんな思いをもち続けることが大事か。 • 責任を果たそうという思いは、どこから生まれてくるのか。

正直、誠実

観点	発問		
<p>道徳的価値の意味を考えさせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 正直に言うとは、どういうことか。 • 明るい心で生活することは、どのような生活なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 明るい心とは、どんな心か。 • 誠実さとは、どういうことか。 • 誠実に行動するとは、どういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 誠実な人とは、どういう人か。 • 黙っていれば分からないことを、どうして言うのか。 • 正直な人は、どのような人か。
<p>道徳的価値のよさや大切さを考えさせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 正直に言うと、どんな気もちになるか。 • 正直な人を「よい人だ。」というのはなぜか。 • 何事にも嘘や偽りのない人のことを、みんなはどう思っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 明るい心で生活をしている人は、いつもどんな気持ちでいるのか。 • 誰もが正直に生活していると、どんなことがよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 黙っていれば分からないことを言うのは、何がよいのか。 • 人から言われて決めるよりも、自分の思い通りに決める方がよいのはなぜか。 • 人は、なぜ、正直がよいと考えているのか。
<p>道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 嘘を言いたくなるときでも、その気もちに負けないための思いは何か。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の過ちを言えるためには、どんな思いをもつことが大事か。 	<ul style="list-style-type: none"> • 過ちを許してもらうには、どのような思いを込めなければならないか。
<p>道徳的実践への意欲を高めさせる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 嘘やごまかしに打ち勝とうとするには、どのような心の力が必要か。 • 怒られても、なお、正直に言おうとするのは、どんな思いがあるからか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分の過ちを言うとき、どんな思いが大きくなっていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 黙っていれば分からないことを言うとき、抑えても噴き出してくる思いとはどんな思いか。

節度、節制

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> よく考えて行動するとは、どういうことか。 みんな、わがままな気持ちを、どんな考えで抑えているのか。 よい生活リズムとは、どういうものか。 	<ul style="list-style-type: none"> ただ我慢するだけではなく、自分にどのように言い聞かせるとよいか。 幸せに暮らすには、何が、どのくらいいるのか。 幸せに暮らすとはどういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のことは自分が守るとは、どういうことか。 節度ある人は、どのようなことをしているのか。どのような考えでそれをしているのか。 健康な最低限の生活とは、どういう生活か。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> 健康が大切なのは、どうしてか。 お金は、何のためにあるのか。 どのような生活が、よい生活なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話とどのように考えて付き合っていくことが大切か。 	<ul style="list-style-type: none"> 今の生活の中で、人として忘れてはならないことは何か。 よい生活を送ることは、何がよいのか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> 安全に気をつけて生活するためには、普段から、どんな思いや考えをもっておかなければならないか。 健康な生活を続けようとするには、どんな思いをもち続けることが大事か。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を見直すときには、どんなことを考えて見直すとよいか。 次から次へと生まれてくる欲に対して、どのように考えるとよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> よい生活リズムをつくるには、どのような思いや考え方が大事か。 みんなが持っているものに対して、どのような考え方が大事か。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ものを大切にする第一歩は、どんな思いか。 	<ul style="list-style-type: none"> つい、生活を乱す心よりも強い思いはどんな思いか。 	<ul style="list-style-type: none"> よい生活リズムへ一歩踏み出すには、どのような心の力が必要か。

個性の伸長

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> 「私」とは、どういう人か。 「自分らしさ」とは、何か。 誰にも長所や短所があると考え、自分のことをどのように考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 長所とは何か。短所とは何か。 長所と短所は、どこで区別するのか。 長所も短所も、自分にとって切り離せないものと考え、長所や短所をどのよ 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分らしさ」をどのように考えると力になるのか。 一人ひとりの違いを認めるとは、どういうことか。

		うに考えることができるか。	
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・私のよいところは、どんなところか。 ・「私らしさ」が見つかったら、何がよくなるのか。 ・長所を伸ばしていくと、どんなよいことが考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところが分かると、どんな気持ちになるか。 ・人は、自分のよさが分かると、どのようになるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分らしさ」が、長所になるか短所になるかの分かれ道は何か。 ・みんなが「私らしさ」をもつことがよいというのは、どうしてか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところを見つけるには、どのようなところを考えるとよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短所をよりよいものに変えるには、どのような思いが大事か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことを考えると、自分のよいところが増えていくのか。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のよいところが分かると、どんな自分が変わっていきそうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長所は、どこから生まれてくるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長所をもっと大きく伸ばすには、さらにどんな思いや気持ちを大きくするとよいか。

希望と勇気、努力と強い意志

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・希望とは、どのような思いか。 ・希望を支えているのは、どのような思いか。 ・人は、なぜ努力しようとするのか。 ・人は、なぜ諦めたくないと思うのか。 ・人は、なぜ夢をもとうとするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば、希望は生まれてくるのか。 ・夢と目標の違いは何か。夢と目標との関係は何か。 ・何かあるとくじけないのか。 ・夢の先には、何かあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かう勇気とは、どういうものか。 ・目標とは、どういうものか。 ・目標があるから努力するのか、努力を続ける先に目標ができるのか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・努力は、なぜ大切か。 ・希望を持つと、何がよくなるのか。 ・努力する人を「すごい人だ。」と思うのはどうしてか。 ・勇気ある人とは、どのような人か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標があると、どのように変わるか。 ・くじけそうなとき、どんなことが支えになるか。 ・目標に向かって進んでいる人を見て、どう思うか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成したとき、どんな気持ちになるか。 ・自分の心の強さを感じたことはあるか。 ・夢や目標を達成した先人は、みんな、どんな思いをもっていたか。
道徳的態度（身構え、	<ul style="list-style-type: none"> ・最後までやり通すことを支えているの 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成するためには、どのような思 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成できないときでも、どんな思

心構え)を考えさせる	は、どのような思いか。	いが大事か。	いや考えをもつことが大事か。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・諦めようとする気もちよりも、やり抜く強い気持ちとは、どんな気持ちか。 ・夢や希望は、どのような力を与えてくれるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を達成しようという心の力は、どんな力か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標の達成まで、もち続ける強い思いとは何か。

真理の探究

観点	発 問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・一つのことを極めた人から、何を学ぶか。 ・一つのことを極めた人たちは、みんな、どんな思いから出発しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人は、なぜ、より深く探究してみようと思うのか。 ・今のままでもよいのに、なぜ、工夫をしようとするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、そこまでして、物事を極めようとするのか。 ・探究したことに終わりはあるか。どうなれば終わりになるか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・探究して、物事が分かってくると、どんなことがよいのか。 ・今の生活を工夫することは、何がよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究を続けて、楽しいことはどんなことか。 ・何か探究したいものはあるか。それを極めると、何が変わりそうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究する心は、なくても生活できるが、あると何がよいのか。 ・何があるとみんなの暮らしがよりよくなるか。何が変わるとよりよくなるか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・何かを探求しようとするには、どんなことが必要か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究の種は、どこに転がっているのか。その種を大きく育てるのは、どんな思いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先の見えない、長い探究を続けていくとき、どんな思いや考えが支えになっているのか。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・何年も探究を続けるには、どんな思いが必要か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・探究してみようという思いは、どこから生まれてくるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・困難に突き当たった先人は、どんな思いで突破したのか。

B 主として人との関わりに関すること

親切、思いやり

観点	発 問		
道徳的価値の意味を	<ul style="list-style-type: none"> ・何が親切になるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりとは、どういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親切かどうかはどんなことで決まるのか。

考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・親切とは、どういうことか。 ・思いやりの心が相手に伝わらないとき、どのように考えるとよいか。 ・人に親切にすると、自分の何かがなくなったり少なくなったりするが、それでも親切にしようとするのはなぜか。 ・何のために親切にするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、思いやりの気持ちを持たなければならぬのか。 ・なぜ、みんなが思いやりの心を考えないといけないか。 ・一見、親切に見えても、親切ではないのは、どういうものがあるか。なぜ、それは親切ではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> か。 ・親切にすると、相手とどんなつながりができるのか。 ・困っている人を見たら、どうして助けたいくなるのか。 ・最高の思いやりとは、どういうことか。 ・人として、相手にこれだけは思いやらないといけないのはどういうことか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心は、なぜ、大切なのか。 ・親切にしている人を見て、「いい人だ。」と思うのはどうしてか。 ・なぜ、人は、親切がよいと思うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親切は、どういう点でよいのか。 ・思いやる心がよいというのは、どうしてか。 ・みんなが、「人に親切にしましょう。」とどうしていうのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親切にした人、された人は、それぞれどんな気持ちになるか。 ・人を思いやるのは、どうして大切なのか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・人に親切にしようとするには、どんな心をもっておかなければならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人に親切にしようとする行動を支えているのは、どんな心か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心が行動に現れるには、どんなことが必要か。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの心が生まれるには、どんな思いが必要か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親切のスタートは何か。そこから、どのような心の順番で親切にできるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親切にすることを阻む、躊躇させる心よりも、より大きな心とは、どんな心か。

感謝

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう。」に、どんな気持ちを込めるのか。 ・「ありがとう。」の気持ちを伝えることに、どんな意味があるのか。 ・人は、なぜ、「ありがとう。」と言うのか。 ・「ありがとう。」を言ってもらいたくて、 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に感謝するのはなぜか。 ・地域の人々に、どうして、感謝するのか。 ・「ありがとう。」を言うほかに、感謝の気持ちは表せないのか。 ・どんなことを考えないと、感謝の気持ちは生まれてこないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会ってもしない先人に、なぜ、感謝をしないといけないか。 ・自然や動植物に、なぜ、感謝をしないといけないのか。 ・最高の感謝の気持ちとは、どういうことか。

	何かをしてあげるのか。		・人として、最低、表す感謝の気持ちとは、 どういうことか。
道徳的価値のよさや 大切さを考えさせる	・「ありがとう。」を伝えることは、なぜ、 大切なのか。 ・すぐに「ありがとう。」と言える人は、 どんな人か。	・「ありがとう。」が言える人は、どんな気 持ちの持ち主か。 ・みんなは、なぜ、「『ありがとう。』を言 いましょう」というのか。	・「ありがとう。」を言った人、言われた人 は、どんな気持ちになるか。
道徳的態度（身構え、 心構え）を考えさせる	・感謝は、どのような態度で表すことがで きるか。 ・「ありがとう。」のほかに、感謝の気持ち を表す態度は何か。	・感謝の気持ちが大きくなってくると、ど のような態度を考えるようになるか。 ・地域の人々への感謝の気持ちを表すに は、どのような思いが大切か。	・先人への感謝の気持ちを表すには、どの ような態度が考えられるか。 ・自然や動植物への感謝の気持ちを表す には、どのようなことを考えることが大 切か。
道徳的実践への意欲 を高めさせる	・「ありがとう。」の気持ちは、どこから生 まれてくるのか。 ・「ありがとう。」の気持ちが生まれるに は、相手のどんなことを考えないといけ ないのか。	・「ありがとう。」の思いや気持ちが大き くなっていくと、どんな思いや考えが生ま れてくるのか。 ・先人に「ありがとう。」の気持ちをもつ には、どんな思いをもつ必要があるか。	・物や自然に感謝するには、どんな思いを もつ必要があるか。

礼儀

観点	発 問		
道徳的価値の意味を 考えさせる	・あいさつは、なぜ、するのか。 ・礼儀正しいとは、どういうことか。 ・相手がどんな人であっても、同じあいさ つであるのは、どういう意味があるのか。	・あいさつは、人と人をつなぐ何か。 ・礼儀は、何のためにあるのか。 ・礼儀に形があるのはどうしてか。	・あいさつは、相手への、どんな思いや気 持ちの表れか。 ・人としての最低限の礼儀とは、どうい うことか。
道徳的価値のよさや 大切さを考えさせる	・あいさつは、なぜ、大切なのか。 ・礼儀正しい人を見ると、「よい人だ。」と 思うのはなぜか。	・あいさつをするとどんな気持ちにな るか。 ・あいさつ運動は、なぜ、するのか。	・あいさつをされると、どんな気持ちにな るか。 ・礼儀正しい人は、どういうところがよい

	・みんなは、なぜ、あいさつは大切だというのか。	・礼儀正しい人とは、どういう人か。	のか。 ・礼儀正しいと何がよくなるのか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	・時と場所に応じたあいさつをするには、どんなことを考えることが大事か。 ・礼儀正しく振舞うには、どんなことを考えないといけないか。	・あいさつには、どのような思いや気持ちを込めるとよいか。	・思いのこもったあいさつは、どのような態度に出るか。
道徳的実践への意欲を高めさせる	・あいさつをしようとするとき、どんな心が沸き上がってくるのか。	・相手にどんな思いを伝えたくて、あいさつをするのか。	・あいさつを拒む心乗り越える心は何か。

友情、信頼

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	・友情とは、どんなことか。 ・相手を信じるとは、どういうことか。 ・友達に必要なのか。 ・誰もが友達をつくりたがるのはなぜか。 ・どこまでが友達か。 ・どうして、ずっと、友達についてのことを考え続けられないといけないのか。	・同性の友達と異性の友達との違いはあるか。 ・友達は、どうしても作らなければならないのか。 ・友達と、友達ではない人との違いは何か。	・友達同士、理解し合うとはどういうことか。 ・最高の友達とは、どういうことか。 ・クラスの友達でいる以上、最低限の友情とは、どういうことか。 ・あるべき友達関係とはどういうものか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	・友情は、なぜ、大切なのか。 ・友達は、どういう人であってほしいか。 ・みんなは、どうして友達は大切だというのか。	・友達がいてよかったと思ったことはあるか。どういうところがよかったのか。 ・自分にとって、都合がいい人が友達か。楽しませてくれるのが友達か。 ・友達に何を求めているのか。	・友達がいると感じたとき、どんな気持ちになるか。 ・友達は多い方がよいのか。 ・友達がいないのはよくないのか。 ・友達との一体感を感じたことがあるか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	・友達と仲よくするためには、どんな思いや気持ちが必要か。	・友達関係を深めていくには、どんなことを考えることが大事か。	・友達関係を広げていくには、どんなことを考えることが大事か。
道徳的実践への意欲	・友達のために何かをしたくなるのは、ど	・友達を信じる心は、どこから生まれてく	・どんなことがあっても、友達を信じるの

を高めさせる	んな思いからか。	るのか。	は、どんな思いが支えになっているのか。
--------	----------	------	---------------------

相互理解、寛容

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> 相手の、何を理解しなければならないのか。 相手と分かり合うとは、どういうことか。 自分の考え方や意見を相手に伝えるとは、どういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> それでもなお、相手の過ちを許すのは、どんな理由があるのか。 分かり合うことと同調とは、どう違うのか。 	<ul style="list-style-type: none"> どんな心で、相手の過ちを許すのか。 相手と意見や考え方の違いが分かった後、どうすべきか。 相手の過ちを許すのは、どこまでか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> 相手と分かり合えてよかったと思ったことはあるか。 相手の考え方が分かることは、どうして大切なのか。 互いに分かり合えた後、相手との関係は、どのように変わるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手と意見や考え方の違いが分かることは、どうしてよいのか。 相手の過ちを許せる人は、どのような人か。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の意見や考え方を大切にすることは、どういうことか。 相手の意見や考え方を大切にすることは、どういうところがよいのか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> 互いに理解し合えるには、まず、どんな態度を取ることが大事か。 人は、相手の過ちを、どんな思いで許そうとするのか。 自分の考え方や意見を相手に伝えるときに、考える大事なことは何か。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分とは異なる意見や考え方に対して、どのように接するとよいか。 考え方が異なる者同士がうまく収まるには、どのように考えるべきか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考え方とは違うなど分かったとき、どのような態度を取るべきか。 自分の考え方と違う考え方を受け入れるには、どのような心構えが必要か。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> 相手の過ちを許す気持ちは、どこから生まれてくるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分とは異なる意見や考え方に、どんな思いで歩み寄るのがよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の過ちを包み込む大きな心とは、どのような心か。 相手の過ちへの憤りよりも大きな心とは、どのような心か。

C 主として集団や社会とのかかわりに関すること

規則の尊重

観点	発 問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・約束やきまりは、なぜ、あるのか。 ・約束やきまりは、何を決めてあるのか。 ・みんなが約束やきまりを守って生活をしているのはどうしてか。 ・どんなことを求めて法やきまりをつかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約束やきまりは、何のためにあるのか。 ・約束やきまりは、どういうことをめざしてあるのか。 ・社会には、なぜ、きまりが必要なのか。 ・人として、きまりに対して、最低、どんなことを考えなければならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの権利をどのように考えるべきか。 ・みんなが何となく守っているものは、どうしてあるのか。 ・人は、どうしてきまりを守ろうとするのか。 ・義務は、なぜ、あるのか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・約束やきまりを守ることは、どうして大切なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約束やきまりがあつてよかったと思つたことはあるか。どういうところがよかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にも権利があることは、どうして大切なのか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・約束やきまりを守るには、どのように考えておくことが大事か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約束やきまりをきちんと守ろうとするのは、どうしてか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の権利を守るためには、どのように考えなければならないか。 ・自分の権利を使うときに、どんなことを考えないといけないか。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・約束やきまりを守ろうという気持ちは、どのように考えると大きくなってくるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たとえ自分一人であつたとしても、約束やきまりを守ろうとする心は、どのような強い心か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守ろうとするのは、きまりへのどういう思いがあるからか。

公正、公平、社会正義

観点	発 問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・公平とは、どういうことか。 ・好き嫌いで判断してはいけない理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分け隔てのない考え方とは、どういうものか。 ・いじめがいけないのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめかどうかは、誰が決めるのか。どんなことで決まるのか。 ・どうして一人ぼっち（仲間外れ）をつく

	<ul style="list-style-type: none"> ・正義とは、どうあるべき姿なのか。 ・正義のためなら、何をしてもよいのか。 ・公平かどうかは、どんなことで決まるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何のためにいじめをなくすのか。 ・いじめは、どのような経過で大きくなっていくのか。 ・いじめがなくなることはあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを見ているだけでもいけないのはなぜか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・正義は、なぜ、大切なのか。 ・どんなことが公平になるのか。 ・人は、なぜ、正義が大事だというのか。 ・正義感ある人は、どういう人か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめのないクラスは、どんなクラスか。どういうところがよいのか。 ・誰もが公平であるクラス（社会）とは、どういう姿をしているのか。 ・誰もが、いじめのことを考えないといけないのはなぜか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめがないクラスでは、どのような気持ちで生活できるか。 ・いじめは、どこから生まれてくるのか。 ・人として、公平について、最低、どんなことを考えなければならないか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・人に対して、公平であるためには、どのように考えなければならないか。 ・公平なクラス（社会）をめざすためには、どのような考え方が必要なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人をいじめないために、どのように考えておく必要があるのか。 ・「いじめはよくない。」と言えるには、どのような考えが大事か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめが起こってしまったとき、どのように考えるべきか。 ・誰もが、どんなことを考えていたらいじめは起こらないか。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめられている人に、どんな思いや気持ちが寄り添うことができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめにつながる気持ちが大きくなってきたら、さらに、どんな気持ちを大きくしていじめを防ぐか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを見たら、どのような気持ちが沸き起こってくるのか。

勤労、公共の精神

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・どうして、当番や係活動をするのか。 ・なんのために当番や係活動があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どうして、ボランティアをするのか。 ・どうして、ボランティアが必要なのか。 ・なぜ、人は、ボランティアをしようとするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働くとは、どういうことか。 ・何を求めて働くのか。 ・人は、どんな思いを込めて仕事をするのか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・当番や係活動が大切なのは、どうしてか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアをする人は、どんな思いでやっているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな仕事も大切なのは、どうしてか。 ・みんなが、当番や係活動を一生懸命にす

	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアをする人を「よい人だ。」と思うのはどうしてか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが大切なのは、どうしてか。 ・ボランティアのよいところは、どんなところか。 	<ul style="list-style-type: none"> ると、どんなことがよくなるのか。 ・人が、ボランティアができるならやってみたいと思うのは、どうしてか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・当番や係活動をするために、どんな思いや考えをもつことが大事か。 ・当番や係活動を続けていくには、どんな思いや考えをもち続けることが大事か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアをしようとするときには、どんな思いや考えをもつことが大事か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に対して、どんな思いや考えをもつことがよいか。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・当番や係活動をもっとやろうという気持ちは、どこから生まれてくるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当番や係活動をやりたくないという気持ちに負けないのは、どんな思いか。 ・ボランティアをしようと思う第1歩は、どんな思いか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事への希望をさらに大きくするには、どんな思いを大きく膨らませるとよいか。

家族愛、家庭生活の充実

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・父母、祖父母に、どうして感謝しないといけないのか。 ・家族（父、母）に何を求めているのか。 ・家族も「一つの社会」と考えると、どうなるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族は、どんなことでつながっているのか。 ・家族と暮らしていることは、どんな意味があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、家でお手伝いをしないといけないのか。 ・家族の一員とは、どういうことか。 ・家族で協力するとは、どういうことか。 ・最高の家族とは、どういうことか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・家族がいることは、なぜ大切なのか。 ・家族の大切さを、どんなときに感じるか。 ・家族っていいなと思ったことはあるか。 ・みんなが、家族は大切だというのはどうしてか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家で、ほっとしたり、わがままをだせたりするのは、どうしてか。 ・この家族でよかったと思ったことはあるか。 ・どのような家族の姿を求めているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族で協力してよかったと思ったことはあるか。 ・家族の一員と感じたことはあるか。 ・家族それぞれ、家族のために何をしているのか。

道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・家族にどのような思いや気持ちをもつことが大事か。 ・家族からの注意や忠告を、どのような思いで受け止めることが大切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の幸せのために、どのような態度を取ることが大事か。 ・家族を一つのチームだと考えると、どのような態度が考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の一員として、どのような態度をとることが大切か。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・父母、祖父母への感謝の気持ちは、どこから生まれてくるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の幸せのために、どのような気持ちを大きくしていくことが大切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の一員として、どんな気持ちを高めしていくことが大切か。

よりよい学校生活、集団生活の充実

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・先生や学校の人々に感謝するのは、どうしてか。 ・学校生活を送る上で、最低、みんなが考えないといけないのはどんなことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校（学級）が楽しい」とは、どういうことか。 ・学校（学級）のために協力し合うとは、どういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で、役割をもつということは、どういうことか。 ・集団の中で、なぜ、役割を持たなければならないか。
道徳的価値のよさや大切さを感じさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活の中で、誰が、何をしてくれているのか。 ・どのような学校生活をめざしているのか。 ・友達と集団生活をするのは、なぜ、大切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校が楽しかった。」と思ったときは、どんなときか。 ・誰もが、どんな学校生活を送りたいと思っているのか。 ・最高の学校（生活）とは、どういうことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが役割をもつことは、どうして大切なのか。 ・自分の役割を果たすことができたとき、どんなことを思ったか。 ・みんなが自分の役割を果たすと、どんな学校（学級）になるか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちのよい学校生活を送るには、どのような態度をもっておくことが大切か。 ・学校を楽しくするのは誰か。なぜ、楽しくしないといけないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい学校（学級）にしていくには、どのように考えるとよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割は、どうやって見つけていくとよいか。 ・自分の役割をどのようにすれば果たすことができるのか。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・「この学校（学級）がいい。」という気持ちは、どんなことから生まれてくるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校（学級）をもっとよくしたい。」という気持ちは、どうすれば大きく膨らむのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割について、どのような気持ちをもち続けるとよいか。 ・自分の役割を果たすための心の力は何

か。

伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度

観点	発 問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none">・地域の祭りは、なぜ、続いているのか。・地域の祭り（文化財）に込められている思いは、何か。・なぜ、祭りがあるのか。・なぜ、祭りをするのか。	<ul style="list-style-type: none">・どんな思いが受け継がれてきたのか。・伝統や文化は、なぜ、残さないといけないのか。・伝統を受け継いだものとして、これからどのように考えるべきか。	<ul style="list-style-type: none">・伝統や文化は、なんのために、長年、受け継がれてきたのか。残されてきたのか。・人は、どんな思いで守ってきたのか。・守るべきものは何か。・なぜ、みんなは、お祭りなどの伝統や文化を残さないといけないというのか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none">・地域の祭り（文化財）のよさは、どんなところか。・地域の祭り（文化財）は、なぜ、守らないといけないのか。	<ul style="list-style-type: none">・伝統（昔から受け継がれてきたもの）が今にも生かされているのは、どういうところか。・祭りは、なぜ、大切なのか。	<ul style="list-style-type: none">・伝統を創り上げてきた人々のすばらしいところは、どんなところか。・わが国の誇れるところは、どんなところか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none">・地域の祭りに、どんな思いで参加することが大切か。	<ul style="list-style-type: none">・伝統や文化を守っていくには、どのような思いや考え方が必要なのか。	<ul style="list-style-type: none">・受け継がれてきたものを、これからもつないでいくには、どのような思いが大切か。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none">・地域の祭りに参加して、どのような思いが大きくなるとよいか。	<ul style="list-style-type: none">・地域のことが好きになるとは、どのような気持ちか。その気持ちを大きくするには、どう考えるとよいか。	<ul style="list-style-type: none">・よりよい地域をめざして、みんなが、どんな思いや気持ちを大きくすればよいか。

国際理解、国際親善

観点	発 問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none">・日本とその国との共通点は何か。・日本とその国とは、どんなところが違うのか。	<ul style="list-style-type: none">・相手の国を理解するとは、どういうことか。・なんのために他の国と交流するのか。	<ul style="list-style-type: none">・世界の中の日本人として、どのような役割があるか。・なぜ、世界の人々と仲よくしないといけないのか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・国と国の違いは、どのように考えるべきか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の中の一人として、どのように考えるべきか。 	<ul style="list-style-type: none"> ないのか。 ・ニュースなどで海外のことを取り上げるのはどうしてか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・日本のよいところは、どんなところか。 ・その国のよいところは、どんなところか。 ・外国の人に知ってもらいたい、日本のよさは、どんなところか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の国のことを知ることは、どういうことがよいのか。 ・相手の国を大切にするのは、どうしてか。 ・どんなことを期待して海外に行くのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の国と交流することは、何が大切か。 ・オリンピック・パラリンピックが大切なのは、どんなところか。 ・外国の人が日本に来るのは、どんなところがよいからか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような考え方をもって、他の国の人々と交流しないといけないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の問題について、どのような考え方を持たなければならないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の国に行くときには、日本人として、どんな態度を考えないといけないか。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・他の国の人々と仲よくなるには、どんな気持ちを膨らませていくことが大切か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の国を知ろうとする第一歩は、どんな思いや気持ちか。 ・日本人として、どんなことに自信をもつとよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どの国のことを知りたいか。それはなぜか。 ・将来、行ってみたい国はどこか。それはなぜか。

D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

生命の尊さ

観点	発 問		
道徳的価値の意味を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・生きているとは、どういうことか。 ・命のつながりとは、どういうことか。 ・命を大切にしないといけないのは、何のためか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「命は時間」と考えるのはどうしてか。 ・命を守るとは、どういうことか。 ・自分の命、他の人の命をどのように考えるべきか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・精一杯生きるとは、どういうことか。 ・命を軽く見るとは、どういうことか。 ・飼っている動物は、どのような思いで育てなければならないか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・命は、なぜ、大切なのか。 ・命があってよかったと思ったことはあるか。 ・身内の死に接して、「ありがとう。」と言 	<ul style="list-style-type: none"> ・命ってすばらしいなと思ったことはあるか。 ・体や心が大きくなってきたと思うところは、どんなところか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命に生きている人を見たり聞いたりして、すごいと思うのはどうしてか。 ・どのような思いで生きると、自分は輝く

	うのは、どういうことか。	・みんなは、どうして、命が大切だとい うのか。	のか。
道徳的態 度（身構え、 心構え）を考 えさせる	・命があることについて、どのよう に考えて生活することが大事か。	・命を守るには、どのようなことを考 えて生活する必要があるか。	・他の人の命を守るには、どのよう な態度を考えなければならないか。
道徳的実 践への意欲 を高めさせ る	・命を守るといふ思は、どのよう に考えると大きくなっていくのか。	・誰の命も大切に思ふ第一歩は、ど のような思いか。	・動植物の命をもっと大切にするに は、どのような思大きくしないとい けないか。

自然愛護

観点	発 問		
道徳的価値の 意味を考 えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中には、どういうものがあるか。 ・自然にはどのような力があるのか。 ・人と自然とは、どのような関係にあるのか。（つながりがあるのか） ・自然を守るとは、どういうことか。 ・何のために自然を守るのか。 ・自然に対して、最低限、考えておかなければならないことはどんなことか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山や川が今まで続いているのは、どうしてか。 ・どうして、動植物を守らなければならないのか。 ・自然災害に対して、どのように考えるべきか。 ・自然に対して、どのような思いを忘れないようにすべきか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、みんなは、自然のことを考えなければならないのか。 ・自然は、人に何を与えてくれているのか。 ・自然との持続可能な関わりは、どのように考えなければならないか。 ・人と自然との共存は、あり得るか。
道徳的価値の よさや大 切さを考 えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・自然のすばらしさ（美しさ・不思議さ・恐ろしさ）を感じたことがあるか。 ・どんなときに自然のすばらしさ（美しさ・不思議さ・恐ろしさ）を感じるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然は、どうして大切なのか。 ・自然は、どうして大切にしないといけないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人は、自然に何を求めているのか。 ・みんなが、自然がよいというのは、どうしてか。
道徳的態 度（身構え、 心構え）を考 えさせる	・人は、自然に対してどのような態度をと るべきなのか。	・自然を守るためには、どのような考 え方が大切か。	・自然災害に対して、どのように考 えておかなければならないか。
道徳的実 践への意欲 を高めさせ る	・自然のことを考えようと思ふ第1歩は、 どういう思いか。	・自然を守ろうという気持ちを大きく するには、どういうことが大切か。	・自然を守る活動を始める（続ける）に は、どのような思が必要か。

感動、畏敬の念

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	・美しいもの(こと)とは、どういうもの(こと)か。	・なぜ、感動する(心を動かされる)のか。	・人の生き方を知って、感動するのは、どうしてか。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	・美しいもの(気高いもの)に感動した(すごいなと思った・心が動いた)ことがあるか。 ・どんなときに感動するのか。 ・感動を表現すると、どのような気持ちになるか。	・感動は、人に何をもたらすのか。 ・なぜ、感動することはよいことなのか。 ・非日常的なもの(こと)に感動したことはあるか。 ・なぜ、人に感動は必要なのか。	・人の力の超えたものには、どのようなことがあるか。そのとき、どのように感じるか。 ・感動は、何を与えてくれるのか。 ・何を求めて、本を読む(映画を観る)のか。
道徳的態度(身構え、心構え)を考えさせる	・感動する心をもつには、普段から、物事に対して、どのような心構えが必要か。	・さらに、感動する心を大きくするには、どのような思いを育てていく必要があるか。	・感動を抑えず、自分の心を開くには、どのような考え方が大事か。
道徳的実践への意欲を高めさせる	・心に、どのような思いが、感動の芽となるのか。	・どのような思いが噴き出してくると、感動になるのか。	・心を動かすのは、どのような力か。

よりよく生きる喜び

観点	発問		
道徳的価値の意味を考えさせる	・自分の心の強さや弱さは、どのようなものか。 ・よい生き方とは何か。	・よりよく生きるとは、どういうことか。 ・なぜ、みんなは、よりよく生きようとするのか。	・人生の目的は何か。 ・どのような人生を送りたいか。 ・生きていくときに、最低限やってはいけないこととは何か。
道徳的価値のよさや大切さを考えさせる	・心の強さがあれば、どのようなことができるか。 ・自分の中の何に期待をしたいか。	・心の弱さを乗り越えた先には、どのようなことが待っているか。 ・心の弱さを乗り越えるのは、どうして大	・よりよく生きるのは、なぜ、大切なのか。 ・どんなときに生きる喜びを感じるのか。 ・喜びとは何か。

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけが弱い（苦しい・辛い）のか。 ・生き方のモデルはあるか（憧れはあるか）。 	<ul style="list-style-type: none"> 切なのか。 ・自分の中で、以前よりも成長したと思えるところは、どんなところか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何が喜びとなるのか。
道徳的態度（身構え、心構え）を考えさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の強さをさらに伸ばすには、どのような考え方が大事か。 ・どのような考え方を大事にしながら生きていきたいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱さを乗り越えるには、どのような考え方が大事か。 ・よりよい人生に向かって、どのような計画を立てるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦しいこと（辛いこと）に出会ったとき、どのように考えて向き合うことが大事か。
道徳的実践への意欲を高めさせる	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の弱さをみつめるには、どのような心の力が必要か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような心の力があれば、自分の弱さを乗り越えることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろとある人生を進んでいく原動力は何か。